

序章 社業で活躍する 中小企業“内”診断士



石田 正和

東京都中小企業診断士協会城南支部

独立診断士と企業内診断士、この違いは何だろうか？ 先日、企業内診断士歴20年の先輩からこのような話を聞いた。

「独立している＝スキルが高いというわけでも、企業内＝専門性が高いというわけでもない。ただ、属性を示しているだけである。資格取得の目的が、『他者から承認を得るため』なのか、それとも『他者貢献の手段として活用するため』なのかが重要ではないか」

一般社団法人中小企業診断協会が公表している「データでみる中小企業診断士 2016年版」によると、中小企業診断士の職業は、プロコン診断士47.0%、企業内診断士47.4%と、ほぼ同数である（図表1）。

診断士試験合格から間もない頃、「プロコ

ン」という言葉の意味がわからずに教えてもらい、「企業内診断士はプロといえないのか？」と思ったことがある。たしかに、企業内診断士は、経営の診断・助言に従事する機会に恵まれているとはいえない。

前出同協会の「データでみる中小企業診断士」（2005年調査）によると、中小企業診断士が所属している企業（民間企業）の規模のうち、民間企業（金融機関除く）の内訳は、中小企業が35.3%、大企業が63.5%と、大企業のほうが多い（図表2）。

中小企業診断士の集まる場で名刺交換をすると、大企業に勤務されている方が多いと感じる。いくつかの大企業では社内に診断士会があることからわかるように、企業の理解

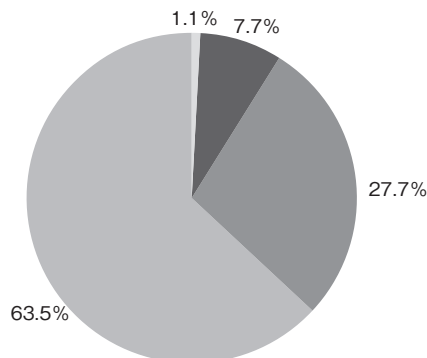
図表1 中小企業診断士の職業

職業		回答数	構成比
プロコン	プロコン経営（他資格兼業なし）	549	27.6
	プロコン経営（他資格兼業あり）	318	16
	コンサルティング会社等勤務	67	3.4
企業内	公務員	29	1.5
	公的機関・団体等	95	4.8
	調査・研究機関	11	0.6
	金融機関	163	8.2
	民間企業（金融機関除く）	644	32.3
	資格は持っているが、コンサルティング活動も勤務もしていない	47	2.4
その他	46	2.3	
無回答	23	1.2	
合計		1,992	100

出典：一般社団法人中小企業診断協会「データでみる中小企業診断士 2016年版」（2016年）

図表2 中小企業診断士の所属企業の規模

所属している企業（民間企業）の規模は？



■小規模企業 ■中小企業 ■大企業 ■その他

出典：社団法人中小企業診断協会「データでみる中小企業診断士」（2005年調査）

が深く、診断士活動と本業の相乗効果を発揮しやすい土壌が育まれている。おそらく、資格取得奨励制度も、中小企業と比較して、大企業のほうが充実しているのだろう。

対して、中小企業では、苦勞して資格を取得し、いざ社内に活躍の場を求めようにも、経営者が資格の存在自体を知らなかったり、「うちの会社では必要ない」と判断されたりと、勤務先企業の業績向上に直結するような活動がなかなか難しいと思われる。

その結果、中小企業診断士と本業のシナジーについては「目に見える成果というよりは、社外での診断士活動を通して得た考え方が普通の業務に役立っている」という声を耳にすることが多い。もちろん、それは素晴らしいことである。しかし、中小企業診断士としての実践の場を、もっと社内にも求めていくべきではないだろうか。

今回は、自身が勤務する中小企業内で、中小企業診断士の知見を業務に生かし活躍する5名にインタビューを行った(第5章は自筆)。

第1章

社名：エス・イー・エス株式会社
業種：情報サービス業（勤怠管理・給与明細システム等）
氏名：小野寺 寿光
職種：取締役管理部本部長
従業員数：106名

第2章

社名：株式会社春夏秋冬
業種：訪問看護，居宅介護支援事業
氏名：妹尾 拓朗
職種：ケアマネジャー
従業員数：10名

第3章

社名：清田産業株式会社
業種：食品原材料専門商社
氏名：新開 寛之
職種：購買部業務課 総務部人事課，情報シ

ステム課 兼任

従業員数：90名

第4章

社名：株式会社アイ・エヌ・エス
業種：情報サービス業（企業，公共団体の業務システム開発）
氏名：濱田 悠介
職種：経営企画室
従業員数：39名

第5章

社名：株式会社エクステック
業種：情報サービス業（システムインテグレーション事業）
氏名：秀田 好章
職種：企画推進室室長 ビジネスソリューション部部長 兼任
従業員数：50名

中小企業に勤務する企業内診断士といっても、業種、従業員数、職種などはさまざま。しかし、今回登場する5名に共通しているのは、資格の知識をフル活用し、全社的な視野を持って孤軍奮闘していること。そして、周囲を巻き込みながら「目に見える成果」を出していることである。

すべての企業内診断士、特に中小企業に勤務する方たちにとっては、5名の活動の軌跡は大いに参考になるであろう。実際の取り組み内容だけでなく、改革に至るまでの土壌のつくり方にも特徴があると思う。診断士活動で得た知見を勤務先の業務に引き入れ、経営に活用するヒントをぜひ見つけていただきたい。

石田 正和

(いしだ まさかず)
1975年生まれ。Webが中心の広告代理店でSEとして勤務する傍ら、主に小規模事業者の伴走型支援を行う。2016年中
小企業診断士登録。

